

[果樹部門 令和5年度 参考となる研究成果]

<p>事 項 名</p>	<p>核果類の枝幹害虫コスカシバのフェンプロパトリンエアゾル（ロビンフード）による防除法</p>		
<p>ね ら い</p>	<p>現在、核果類（おうとう、もも、うめ、あんず、すもも、ネクタリン）におけるコスカシバ対策として、樹体に食入している幼虫を対象とした耕種的防除法の刺殺又は捕殺を指導している。しかし、幼虫の刺殺及び捕殺は樹皮を削り取る必要があり、労力がかかる。そこで、より簡便な方法としてフェンプロパトリンエアゾル（ロビンフード）の防除効果を検討したところ、実用性が確認されたので参考に供する。</p>		
<p>内 容</p>	<p>1 防除法 生育期に枝幹部や地際部に虫糞の発生がみられる場合、虫糞を取り除き、フェンプロパトリンエアゾル（ロビンフード）のノズルを孔に差し込み、薬液を噴射する。</p> <p>2 ロビンフードの概要 (1) 一般名：フェンプロパトリンエアゾル (2) 商品名：ロビンフード (3) 有効成分：フェンプロパトリン(IRAC 3A) 0.02% (4) 人畜毒性：普通物</p> <p>3 ロビンフードの使用基準 (1) 適用害虫：スカシバ類、カミキリムシ類 (2) 使用方法：樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射 (3) 使用時期：収穫前日まで (4) 使用回数：5回以内 (5) フェンプロパトリンを含む農薬の総使用回数 ア おうとう：7回以内（但し、噴射は5回以内、散布は2回以内） イ もも：10回以内（但し、噴射は5回以内、散布は5回以内） ウ すもも：7回以内（但し、噴射は5回以内、散布は2回以内） エ うめ：8回以内（但し、噴射は5回以内、散布は3回以内） オ あんず、ネクタリン：5回以内</p>		
<p>期待される効 果</p>	<p>幼虫の刺殺及び捕殺より簡便な方法であり、本種の発生密度の低下を図ることが期待される。</p>		
<p>利 用 上 の 注 意 事 項</p>	<p>1 本資料は令和4年12月26日現在の農薬登録内容に基づいて作成した。 2 農薬を使用する場合は、必ず最新の農薬登録内容を確認して使用者の責任の下に使用すること。 「農薬情報」(https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/) 「農薬登録情報提供システム」(https://pesticide.maff.go.jp/)</p>		
<p>問 合 せ 先 (電話番号)</p>	<p>りんご研究所 県南果樹部 (0178-62-4111)</p>	<p>対 象 地 域 及び経営体</p>	<p>県内全域の核果類（おうとう、もも、うめ、あんず、すもも、ネクタリン）の作付経営体</p>
<p>発 表 文 献 等</p>	<p>令和4年度 りんご研究所試験研究成績概要集（特産果樹）</p>		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 コスカシバに対する防除効果

(令和4年 青森りんご研県南果樹)

樹種	供試薬剤 ・希釈倍数	樹 No.	虫糞排出箇所数			
			5/20 (処理前)	5/27 (処理7日後)	5/30 (処理10日後)	6/3 (処理14日後)
もも	ロビンフッド	I	1	0	0	0
		II	1	0	0	0
		III	1	0	0	0
		計	3	0	0	0
	無処理	I	4	3	2	3
		II	1	1	1	1
		III	1	0	1	1
		計	6	4	4	5
あんず	ロビンフッド	I	2	0	0	0
		II	1	0	0	0
		III	1	0	0	0
		計	4	0	0	0
	無処理	I	2	2	2	2
		II	3	3	3	3
		III	1	1	1	1
		計	6	6	6	6

- (注) 1 供試樹種：もも「大久保」(38年生)、「白鳳」(38年生)、「あかつき」(20年生)
あんず「八助」(17年生)、「新潟大実」(17年生、38年生)
- 2 散布：5月20日の1回処理。
- 3 調査：虫糞が確認された孔をマークし計数した後、ロビンフッドのノズルを孔へ差し込み、薬剤を逆流するまで噴射した。処理7日後(5月27日)、10日後(5月30日)、14日後(6月3日)にマークした孔からの虫糞排出の有無を調査した。

表2 薬害試験

(令和2、4年 青森りんご研県南果樹)

試験年次	樹種	品種	樹 No.	薬害
令和2年	おうとう	ジュノハート	I	なし
			II	なし
			III	なし
令和4年	おうとう	香夏錦	I	なし
			II	なし
	もも	あかつき	I	なし
			II	なし
	すもも	太陽	I	なし
			II	なし
	あんず	新潟大実	I	なし
			II	なし
			III	なし

- (注) 1 令和2年：おうとう「ジュノハート」(8年生)を供試した。5月8日の1回処理後、随時肉眼で薬害の有無を調査した。
- 2 令和4年：おうとう「香夏錦」(25年生)、もも「あかつき」(20年生)、「大久保」(38年生)、すもも「太陽」(17年生)、あんず「八助」(17年生)、「新潟大実」(38年生)を供試した。5月20日の1回処理後、処理7日後(5月27日)、10日後(5月30日)、14日後(6月3日)に、目視により薬害の有無を調査した。

(参考価格) 480ml 缶で、1,747円(税込)